

# 志布志市立尾野見小学校 第6学年

## 【授業実践のポイント】

- ① 児童が自分事として道徳的価値を捉え、自分の考えをもつことができるように自分を見つめるためにワークシートを工夫した。
- ② 児童がよりよい生き方について自分の考えを深めることができるように、発問を工夫した。

## 1 主題名 「自由の難しさ」[A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任]

(1) 教材名 「自由行動」(日本文教出版『小学道徳 生きる力 6』)

### (2) 本時のねらい

どうして「マサキ」は「自由」について悩んだのか考えることを通して、自由を生かし、自律的な行動をとろうとする態度を養う。

## 2 授業の展開

| 過程 | 主な学習活動                                                                                                                                                                        | 時間 | 指導上の留意点                                                                                                                                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 | 1 「自由」について話し合う。<br>2 本時の課題をつかむ。<br><b>【テーマ発問】</b><br>みんなが満足する「自由」にするためには、どんな考えが大切なのだろう。                                                                                       | 5  | ○ 事前アンケートの結果を提示し、「自由」のすばらしさや難しさに対する自分の考えを確認させることで、一人一人問題意識をもたせ、本時の課題につなげる。                                                                                                                |
| 展開 | 3 教材「自由行動」の範読を聞き、「マサキ」の悩みに気付く。                                                                                                                                                | 5  | ○ 「マサキ」が悩んだ「自由」について考えさせる。                                                                                                                                                                 |
|    | 4 2つの「自由」について話し合う。<br><b>「それぞれ自由に見学する」場合と「マサキが考える自由で見学する」場合のよさや難しさを考えよう。(分析的発問)</b><br>5 どんな考えを大切にするか話し合う。<br><b>【中心発問】</b><br>もし、自分がマサキのグループの一員だったら、どんな考えを大切にするか考えよう。(投影的発問) | 20 | ○ 分析的発問をすることで、自分の考えを深めさせる。<br>○ 自分事として考えさせるため、ワークシートに書かせる。<br>○ 自分の考えを深めさせるため、ワークシートに書いた理由を友達と交流させる。<br>○ 二つの「自由」の共通点や相違点について議論させる。<br>○ 投影的発問をすることにより、周りに流されず自分で判断し「自由」を生かすことの大切さに気付かせる。 |
|    | 6 自己の生き方を振り返る。<br><b>【テーマ発問】</b><br>みんなが満足する「自由」にするためには、どんな考えが大切なのだろう。                                                                                                        | 10 | ○ これからの実践意欲を高めるために、これまでの自分を振り返ったり、これからの自分について考えたりできるようにする。                                                                                                                                |
| 終末 | 7 本時の学習の振り返りをする。                                                                                                                                                              | 5  | ○ 事前アンケートと振り返りの内容を比較させることで、変化や深まりを感じられるようにする。                                                                                                                                             |

教材名 自由行動 主題 自由の難しさ

みんなが満足する「自由」にするためには、どんな考えが大切なだろう。

**理由?**

- 好きなことだけできるから。
- 一人でも何でもできるから。
- 全ての人が決めつけられず、楽しく過ごせるから。
- 自分の好きなことやしたいことは、あまりできないから。
- 自分でしたいことはできても、周りのことを考えて相手のことを優先するから。
- 図工の時間「自由にかいていいよ」と言われると嬉しい。でも、「自由に遊んでいいよ」と言われたらすばらしいから。
- 「自由」は楽しいものでもあるけれど、難しいものでもあるから。していいこととしたいことがないことがあるから。
- 「自由」は、自分がしたいことが何でもできるからすばらしい。でも、周りの人のことも考えないといけないから難しい面もあるから。
- 使い方があっていないとすばらしい「自由」に、使い方がまちがっていると難しい「自由」になるから。

ルール 悩む 周りの人

マサキ→クループの班長

社会見学『自由行動計画表』

もし、あなたがマサキのグループの一員だったら？

**話し合い**

- 歴史の勉強
- 6年生として
- 自分たちで考えて行動する

「自由行動」？

**時間(決まり)**

- 時間を決めて、みんなが見たい所により多く行けるようにする。

**他の人の意見も聞く**

- 楽しみながらみんなが見学したい所に行く。

**楽しむ**

- みんなで楽しんで行動する。
- ルールや周りのことを考えて行動する。

**1つ決める(みんなの納得)**

- 今、学習しているところを一つ決めて、みんなで行動する。

みんなが満足する「自由」にするためには？

- みんなのことを考える。
- みんなが納得するように考える。
- 自分にも相手にも役に立つように考える。
- 自分が何をすべきか考える。
- 他の人のことを考える。

ワークシートを活用し、道徳的価値について考えさせる。更に自分事として捉えられるように中心発問を工夫し、自分の考えを追求させる。

ワークシートに書いた理由を、友達と交流させる。

ワークシートに書いたそれぞれの考えを共有し、児童同士で分類させる。

〈自分の考えをもつ活動〉

〈議論しながら自分の考えを深める活動〉

### 3 実践を終えて

#### (1) 成果

ア ワークシートに書く活動を通して、一人一人が自分の考えをもち、友達に理由を伝えながら自分を見つめることができるようになってきた。

イ 分析的発問や投影的発問などの発問を工夫することで、児童が道徳的価値を自分事として捉え、友達と積極的に交流し、考えを深める様子が見られるようになった。

#### (2) 課題

ア テーマ発問の設定の在り方によって、道徳的価値に対する児童の思考の流れが変わってくるので、事前アンケートなどで児童の実態をしっかりと把握した上で、テーマ発問を設定する必要がある。

イ 児童一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きていこうとする態度を育成するために、葛藤場面を自分事として捉えさせられるように、教材に合わせた指導過程の工夫やワークシートの工夫等の研修を更に進める必要がある。